

■実証実験の概要

- ・実施期間：2022 年 12 月 1 日～2023 年 2 月 28 日（約 3 箇月間）
- ・実施場所：倉敷市立中央図書館
- ・対 象 者：図書館の利用者及び職員
- ・内 容：新型コロナウイルスの感染予防は、換気をする事が有効とされています。
二酸化炭素濃度を測定、グラフ化、記録することで適切な換気のタイミングを可視化して、不特定多数の人が利用する施設において求められる要件や課題等を検証します。
- ・評価項目：
 - ・データ取得の予想及び実績
 - ・図書館の利用者や職員の方の安心感

■先端技術について

オープンな IoT 技術を活用することにより、メーカーを超えた柔軟かつ大規模な I o T システムを構築可能とします。

ほとんどの IoT システムは特定メーカーの指定機種のみを対象としていますが、複数施設や設備全体の気温や湿度など様々なセンサーで計測した数値を一画面（一端末）で管理します。様々なメーカーの設備と連動することにより、例えば、C o 2 濃度が一定値を超えるとエアコンが作動するなど自動で環境を制御できます。

■企業の概要

名称	山田電建株式会社
代表者名	塚田英雄
所在地	徳島県徳島市末広 2 丁目 1 番 1 0 6 号
創業年月	1 9 4 9 年（昭和 2 4 年） 4 月 3 0 日
事業概要	コンピュータシステム開発・販売・保守
従業員数	4 5 名
資本金	3 0 , 0 0 0 千円

■企業の理念

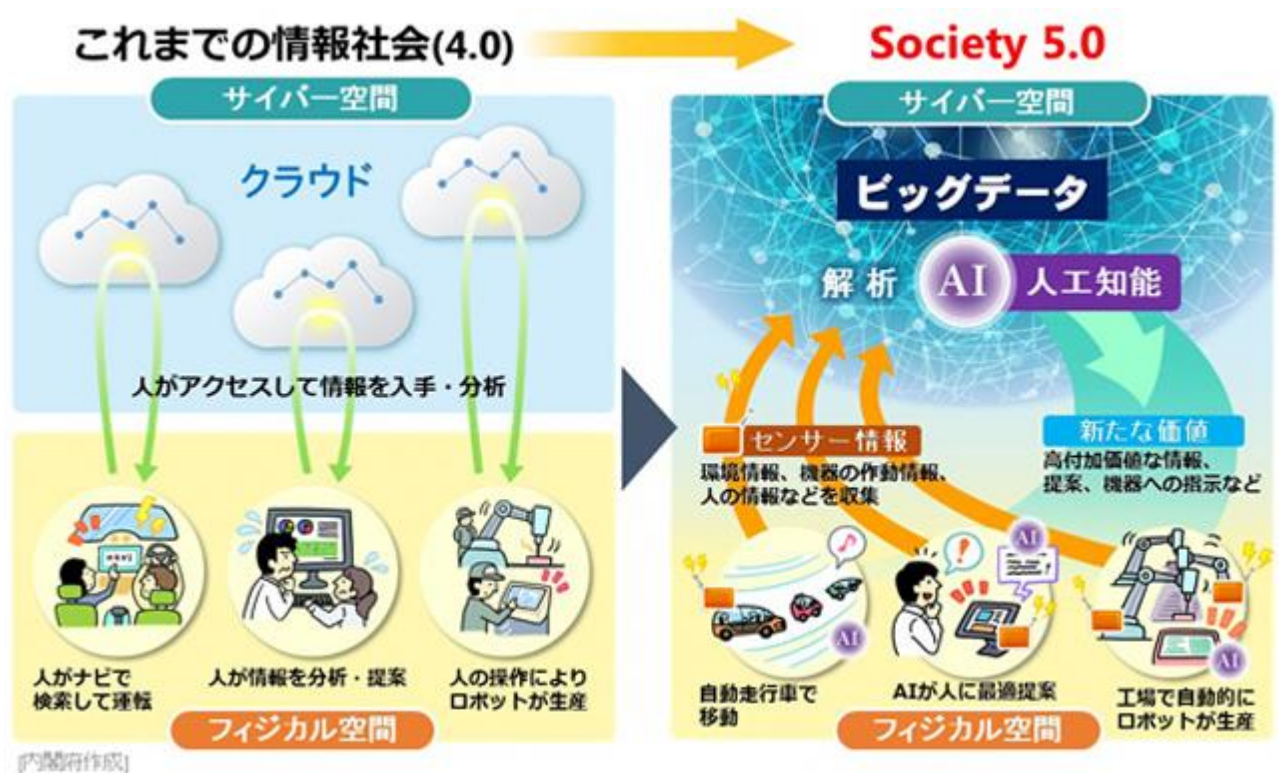
安心で便利な新しい社会づくりにコンピュータ技術で貢献します

■企業のビジョン

先端技術をあらゆる産業や社会生活に取り入れ、イノベーションから新たな価値が創造されることにより、誰もが快適で活力に満ちた質の高い生活を送ることのできる人間中心社会の実現に貢献していきます。

今は、人がサイバー空間に存在するクラウドサービス（データベース）にインターネットを經由してアクセスして、情報を解析することで価値が生まれてきました。

これからは、フィジカル空間のセンサーからの膨大な情報がサイバー空間に集積され、サイバー空間ではビッグデータをAIが解析し、その結果がロボットなどを通して人間にフィードバックされることで、これまでにはできなかった新たな価値が産業や社会にもたらされようとしています。



コンピュータを使っている意識がなくても実は使っている「空気」のようなシステム開発を目指します。

■本件に関するお問合せ

山田電建株式会社 担当 松井 隆

連絡先：t-matsui@yamadadenken.co.jp